



令和6年11月15日

池田町議会
議長 横澤 はま 様

池田町長 矢口 稔



令和7年度予算（事業）要望書に対する回答について

令和6年10月16日付、提出されました標記要望書について、下記により回答致します。

記

1. 至急検討すべきこと

《総務課》

① 新たな役場庁舎について検討委員会を設け検討を開始すること。

【回答】現段階では、各公共施設の長寿命化とともに庁内での検討としたいと考えています。

② 本年度の行財政改革推進委員会を早期に開催すること。

【回答】本年度中の開催に向けて内容等を検討しています。

③ ふるさと納税を増やす施策を検討すること。

【回答】あづみ病院、道の駅、ハーブセンター、各返礼品提供事業者などにチラシを貼りました。また、各種会議の際にも宣伝をしております。その他、宣伝については富裕層の住む地区へのチラシのポスティングやポータルサイトでの有料広告などを実施し、その効果を見極めているところです。返礼品開拓については委託会社とともに行い、カステラや、自家焙煎コーヒー、ハックルベリーのジャムやジュース、パンなどが増えました。一方、デジタルでの事務手続きに慣れない出品者や、在庫管理に問題のある業者、品質管理に問題がありクレーム率の高い業者などもあり、納税額を増やすために、ただ単純に出品を増やせばよいというだけではなく、多角的な対応が必要だと考えています。来年度以降は公式LINEでの「池田町ファン」のコーナーにおいて情報を広く発信して税収増につなげてまいります。

④ 空き家を活用したりリモートワークなどを増やす施策を検討すること。

【回答】 今後、移住定住施策とともに関係人口増加につなげられるよう検討します。

⑤ 会染南部地域の豪雨災害時の避難所を検討すること。

【回答】 会染南部地域のうち、各集会施設や会染保育園、安曇養護学校は、平屋であることか浸水時には不適となるほか、南部には 2 階以上の階を有する公的な建物がありません。現在、浸水が予想される場合の避難所は、北部も含めて会染小学校、多目的研修センター、アート梱包運輸俵、池田小学校、高瀬中学校として地区の指定はしておりませんので、会染南部地域も同様に前述の避難所に避難することになります。豪雨災害の場合、ある程度事前の予測ができることから、早期に避難していただくよう、関係の自主防災会と連携をとってまいります。

《住民課》

⑥ 町民の要望に合ったデマンド交通策を検討し、具体策を明確にすること。

【回答】 現在、県のモビリティアドバイザーを交えて町の交通施策を検討中です。

⑦ 穂高商業高校に通う生徒が就学時間に間に合うよう町営バス安曇野線のダイヤを改訂すること。

【回答】 安曇野線ダイヤ改正が毎年 3 月の JR のダイヤ改正に併せて行えるか検討します。

⑧ 町営バス無料化に伴い中学生の町営バス利用が増えているので、町営バスの停留所・ダイヤなどを見直すこと。

【回答】 町営バス運行に使用する車両や運行経路は、JR の運行ダイヤや病院・商店などの時間を考慮し決定しています。現行の町営バスの運営は運行の目的がほかにあることから、中学の登校に合わせた時間帯の運行は難しいのが現状です。ほかの輸送方法（スクールバス等）を検討する必要があります。

⑨ 生物多様性の保全に配慮した取り組みを強化すること。

【回答】 環境保全運動を行っていただいている団体等と連携しながら、特定外来植物駆除等による自然保護に更に努めます。

《健康福祉課》

⑩ 子どもから大人までの生活習慣病予備群増加の防止策を明確にすること。

【回答】 ・小児生活習慣病予防健診については、学校保育課と協力しながら継続をしていきたいと考えております。保護者や本人と共に健診結果を見

ながらの健康アドバイスを継続し生活習慣と体の中の状態を結びつけ、生活習慣病予防のために何ができるのかを考える機会を提供していきたいと考えております。

- ・成人についても健診受診を呼びかけると共に、健診結果と生活習慣を結び付けながら将来予測をし、改善できることを考える機会を提供するとともに、生活習慣病の発症や重症化を予防していきたいと考えております。
- ・町で把握している健診結果から健康実態を広報等で周知すると共に、生活習慣病予防に関する講演会などを通じて広く住民に啓発していきたいと考えております。
- ・生活習慣病と関係のある「大腸がん」や「胃がん」など、国の推奨する5大がんの受診勧奨として広報や地区の健康相談等で啓発していきたいと考えております。

※ライフステージごとの実施内容については、別紙資料をご覧ください

⑪ 児童虐待、不登校児童、引きこもりなどへの対応を強化すること。

【回答】児童虐待対応強化については、こども家庭センター設置により予防が強化されるようにしていきたいと考えています。不登校児童対応については、教育委員会と連携をしていきたいと思えます。また、午前午後を通じた居場所の確保についても検討してまいります。引きこもり対応については、まず強化することとして多世代相談センター、県の機関などどこかに相談できることだと考えております。

《振興課》

⑫ 農業生産者とコミュニケーションを図り、「地域計画」・「あづみ野池田スマートテロワール構想」に基づき、町に合った農業振興策を明確にすること。

【回答】提唱した構想をもとに進めてまいります。

⑬ 新農業法人「信州池田アグリ」のスケジュールを明確にすること。

【回答】法人代表や株主の意向により決定するため、町として決めることはできません。要望については法人側へ伝えます。

⑭ 国の「5年水張りルール」について、農業者の意見を聴き、対応・指導を強めること。

【回答】農業者からは様々な意見を頂いています。対応には取りこぼしの無いよう努めるとともに、水張りルールに対応できない農業者への支援や補助ができないか検討しています。また、長野県にもルールの柔軟な適用と、農業者の意見を反映した抜本的な制度の見直しを行うよう要望しています。

⑮ 米・野菜などの有機栽培を推奨し、池田松川給食センターでの利用推進を図ること。

【回答】有機栽培を希望する農業者には、栽培方法や補助金申請等の指導を行っています。また、町内農業者や北アルプス農業農村支援センターと協議し、来年度以降、池田町の有機米を給食用として納品できるよう準備を進めています。

⑯ 町が「花とハーブの里」となるよう戦略を明確にすること（ハーブセンター東側の活性化、町民が楽しめ経済的利益をもたらすハーブづくり等）。

【回答】町内ハーブ事業者との連携を図りながら、ハーブ生産や観光客向けの体験を活性化させていきます。また、ハーブセンターやハーブガーデンについても指定管理切り替えのタイミングに合わせた活性化策を早めに検討していきます。

⑰ 観光客を増やす施策を観光協会と共に明確にすること。

【回答】観光協会と連携を密にし、インバウンドを含めた観光客誘致に努めてまいります。

⑱ 「シェアベースにぎわい」の施設利用（シェアキッチン、フリースペース、コワーキングスペース、開発棟）の申し込みをオンライン予約できるようにすること。

【回答】現在の状況を確認し、今後の見込みをする中で検討しましたが、利用希望者から要望も無いことから当面現在の対応を継続していきます。引き続き利用者を増やせるよう、指定管理者とともに情報発信に努めてまいります。

⑲ 大峰高原の振興策（マレットゴルフ場の管理を含む）を明確にすること。

【回答】地権者との土地利用契約が令和8年度までとなっています。更新時に合わせ、所有者や大峰高原の多くを所有している日本デジタル研究所関係者とも協議をする中で、活性化に結び付ける方策を検討していきます。

⑳ 鳥獣被害対策と共にカラス対策を進めること。

【回答】鳥獣害対策専門の地域おこし協力隊員を雇用して、対応しているところです。成果としてニホンザル、ニホンジカ、イノシシの捕獲量は昨年より上がっています。カラスはわなで誘引する方法が有効とされているので、機材の準備や設置場所の選定を進めていきます。

《建設水道課》

㉑ 上下水道の老朽化対策（耐震化も含む）を計画的に進めること。

【回答】上水道施設については、耐用年数を超過し、老朽化した水道配水管の布

設替工事を進めるとともに、水道施設の耐震診断及び管路・水管橋等の点検調査を実施し、水道施設及び送水管・配水管等の耐震化と長寿命化計画の策定及び計画に基づく施設更新を進めます。

下水道施設については、耐用年数を超過する管路はありませんが、高瀬浄水園周辺の重要幹線を中心に、管路やマンホールの点検調査を行い、今後の耐震化等の対策を検討します。また、処理場については、現在実施しているストックマネジメント事業計画に基づき施設の更新を進めます。

《学校保育課》

②パソコン使用費用が軽減するよう見直すこと。

【回答】教職員のパソコンについて、学校からは古い物が多く買い替えて欲しいと要望が出されておりますが、SSD を交換して頂き使用して頂く等、買い替えは最低限にし、順次更新して参ります。また児童生徒の1人一台端末に係る経常経費としてフィルタリングソフト、インターネット利用等がかかるうえ、今後文部科学省よりデジタル教科書使用等のためさらにネットワーク環境を良くするよう求められているので、軽減は難しいです。

③児童センター・クラブを誰でも利用できるよう就労証明などの条件を緩和すること。

【回答】児童センターについては、0歳から18歳誰でも自由に利用する事ができ就労証明等の提出は必要ありません。児童クラブについては、安曇野市や松川村等近隣市町村でも提出をお願いしております。池田町は年度当初に一度提出していただくと、勤務形態が変わっても利用中止になる事はありません。また、放課後の時間に家に居るといような勤務形態であっても就労証明書を提出していただければ、利用可能とする等の柔軟な対応をしておりますので緩和しているかと思えます。

④保小中の保護者や町民との連携でコミュニティ・スクールの推進を図ること。

【回答】コミュニティ・スクールについて、PTAとの連携は課題であり、また町民にボランティアを町民に募ってもなかなか集まらず、周知が足りないと考えております。今後とも理解頂くよう努め、連携に取り組みます。

⑤町民プールの利用を再開すること。(生涯学習課担当)

【回答】予算削減の一環として、町民プールは令和8年度まで休止する計画ですが、年々厳しさを増す夏の猛暑、中学生の授業用に毎年町民プールを使用している現状、町民からの再開を求める声も届いていること等を勘案し、7年度再開に向け検討します。

②⑥保育園統合にともなう交通安全対策を明確にすること。

【回答】敷地内の送迎の時間帯については、職員を配置し一方通行を徹底させたり、乗降の見守りを考えております。敷地外についても関係課と課題を洗い出し、開園までに安心安全な通園ができるよう努力して参ります。

②⑦会染保育園に民間保育園を誘致する取り組みを進めること。

【回答】会染保育園活用チームが発足し、現在検討中です。

《生涯学習課》

②⑧北アルプス展望美術館・創造館・クラフトパークのあり方を至急検討し、方向性を提示すること。

【回答】特に美術館・創造館の運営に課題があるため、美術館運営協議会を開催し委員からの意見・要望をお聞きするとともに、指定管理者の考え等も含め検討してまいります。また、早期に次回指定管理の在り方や方向性について検討してまいります。

②⑨町民が気軽に体を動かせる取り組みを実施すること（月1回のウォーキング開催、ラジオ体操の普及など）。

【回答】過去にウォーキング教室を開催しましたが参加者が少なく継続が困難でした。現在はトレッキング教室や自治会への出前教室等を実施し取り組みを進めております。

③⑩多くの町民に呼び掛けてクラフトパークのブタナ駆除を進めること。

【回答】外来種の駆除は根ごと引き抜き焼却するのが効果的ですが、ブタナは根が長いので駆除がかなり厄介です。クラフトパークの広大な敷地を人力で駆除するのは困難なため、除草剤の効果的な使用を検討中です。

③⑪クラフトパーク野外ステージに屋根掛けを行い、イベント開催利用の呼びかけを行うこと。

【回答】屋根掛けの工事費に加え付随する設備投資など相当の費用が必要となります。財政危機緊急対応期間でもあり現時点では実施予定はありませんが、中長期的なご意見として参考にさせていただきます。

2. 令和7年度予算に反映させる項目

- ① 役場庁舎北側壁の老朽化を修復すること。
- ② 結婚推進委員に係わる予算を復活すること。
- ③ 指定避難所の備蓄品を増やすこと。
- ④ 指定避難所に自動排泄物処理装置を配置すること。
- ⑤ 出産祝い金を増額すること。
- ⑥ 産婦健康診査事業の助成を2回とすること。
- ⑦ 高齢者の補聴器購入への助成を行うこと。(参考：大町市高齢者補聴器購入助成補助金)
- ⑧ 生活習慣病予備群の増加防止に役立つ予算を計上すること(ナトカリ計購入、食育講演会開催費用、健幸長寿委員会開催費用など)。

【回答】すべての項目について、令和7年度当初予算編成・査定の中で検討します。